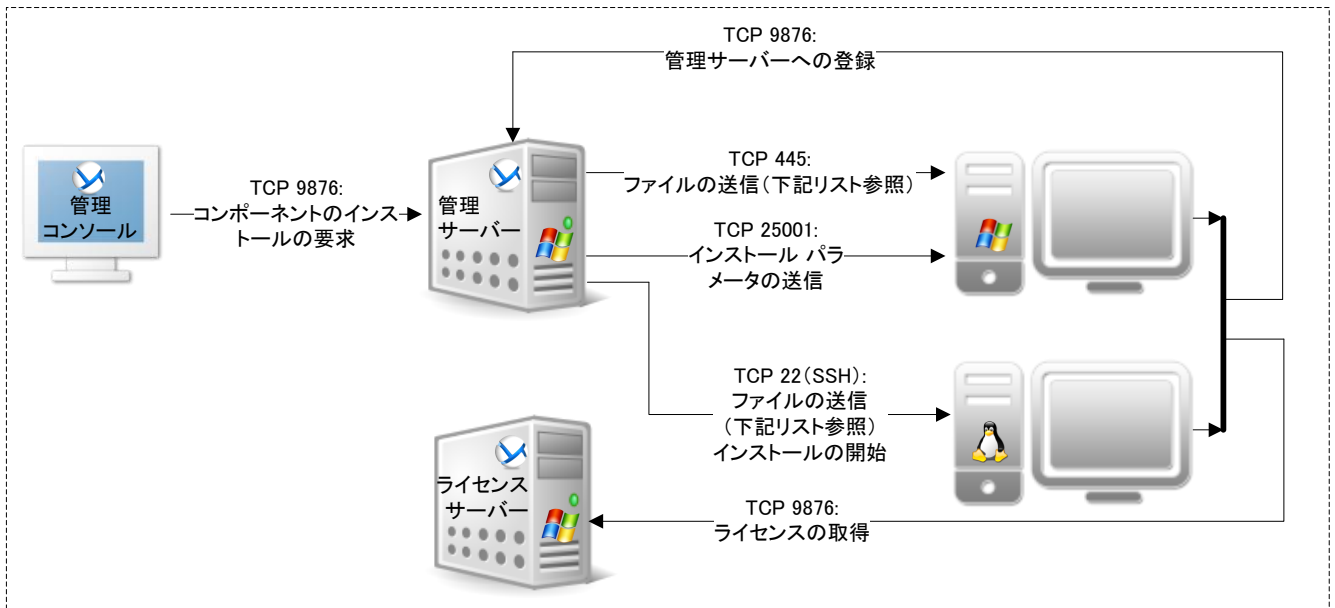


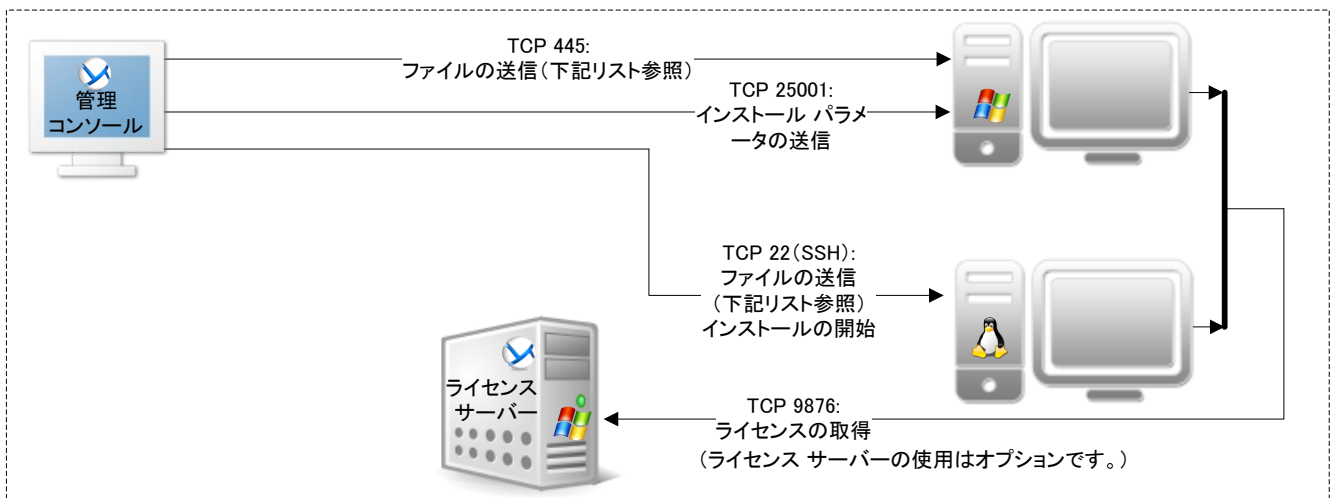
# ABR11.5 ネットワーク接続

## 1. エージェントのリモート インストール

### 管理サーバーが存在する場合



### 管理サーバーが存在しない場合



#### 接続に関する注意事項:

- : 矢印の方向は接続を開始するコンポーネントを示します。テキストは宛先ポートを示します。ソース ポートは 1025~5000 (Windows Vista よりも前の Windows)、49152~65535 (Windows Vista 以降)、または 32768~61000 (Linux および仮想アプライアンス) です。
- エージェントは、指定されたネットワーク名または管理サーバーの IP アドレスを使用してそれ自体を登録します。ネットワーク名が指定された場合、エージェントは、DNS サーバーまたは hosts ファイル (Windows の場合は `%SystemRoot%\system32\drivers\etc\hosts`、Linux の場合は `/etc/hosts`) から IP アドレスを取得します。このファイルに管理サーバーを追加すると、エージェントが管理サーバーとは異なるサブネット上にある場合に役に立ちます。
- 非 DNS 環境では、インストールの実行元のコンピュータ(管理サーバーまたは管理コンソール)で **[ネットワーク探索]** および **[ファイルとプリンタの共有]** を有効にする必要があります。このためには、追加の TCP ポートと UDP ポートを開く必要があります。

#### 暗号化に関する注意点:

- TCP 22:** トラフィックは SSH プロトコルを使用して暗号化されます。
- TCP 445:** トラフィックの暗号化は、Windows の **[ファイルとプリンタの共有]** のオプションによって決まります。
- TCP 9876:** デフォルトでは、トラフィックは暗号化されます。暗号化は、Acronis 管理用テンプレートを使用して設定します。
- TCP 25001:** トラフィック自体は暗号化されません。ただし、すべてのユーザー名とパスワードは暗号化して送信されます。

#### 転送されるファイルのリスト (Windows):

- インストール パッケージ (.msi ファイル):** インストールされるコンポーネントが含まれています。
- Acroinst.exe:** インストール プロセスを管理します。
- Msi\_setup.exe:** コンポーネントをインストールします。

#### 転送されるファイルのリスト (Linux):

- インストール パッケージ (.i686 または .x86\_64 ファイル)**

## 2. コンポーネント間の通信

